

九州国語教育学会紀要

第14号

池田 匡史・太田 寛士

大韓民国初等学校国語教科書における国語科に典型的な内容の重視と教科等統合の追求との止揚
—2022年改訂版教育課程に基づく初等学校1年生前期教科書を対象に—

井浪 真吾・池田 匡史

戦後高等学校国語教科書における『十訓抄』教材史

釘宮 里枝

対話型論証を軸とした「話し合い」活動の実践と検討

小森 真人

駒田信二の社会教育における創作指導—朝日カルチャーセンター小説教室の実践を中心に—

立石 泰之

国語科と道徳科の授業における読むことの共通性と差異性
—「泣いた赤おに」を教材とする指導の比較を通して—

東寺 祐亮

教え合い学習を取り入れた大学における日本語知識を養成する授業の実践

前田 眞澄

中学校漢字学習改善の拠点—『やさしい漢字教室』をめぐる—

三樹 亮太・武田 裕司・池田 匡史

言語文化の享受と継承を意識した高等学校における俳句学習の開発

吉田 昌平

文学的文章における児童の批判的思考を促す授業構成

渡辺 春美

漢文教育実践史の展開—小路口真理美氏の場合

九州国語教育学会

本誌は、冊子体印刷物版『九州国語教育学会紀要』（ISSN 2186-8514、第1号から第3号まで発行）を継承し、第4号より、CD-ROM版（ISSN 2189-3799）として刊行しています。